第 17 回日本在宅医学会もりおか大会　**一般・指定演題**

（研究報告）抄録用紙

演題名 （全角 80 字以内）	施設骨折事例の検討。
演者名	伊藤博之１）足立大樹１）
所属	1）ホームケアクリニック横浜港南

研究方法 （右から番号を選び NO.欄に番号をご記入ください）	1.症例報告　2.症例シリーズ報告　3.コホート研究 4.症例対照研究　5.調査研究　6.介入研究　7.二次研究 8.質的研究　9.その他研究	NO. 5

目的）施設入居者の骨折事例を検討することによって、どのようにすれば骨折事故を減らせるか検討する。

方法）調査期間は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 4 年間で検討する。調査施設は、特別養護老人ホーム 3 施設、グループホーム 8 施設、有料老人ホーム 1 施設。調査項目は骨折数、骨折部位、骨折時間、骨折原因、手術の有無について比較検討する。

結果）　現在集計中であるため平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 3 年間の集計について回答が得られたものを報告する。全入居者数（定数）545 人、全骨折数 108 人、骨折時間は、午前 0 時から午前 8 時は 38 人、午前 8 時から午後 4 時は 43 人 、午後 4 時から午前 0 時は 18 人である。骨折部位は、大腿骨 63 人、脊椎骨 12 人、肋骨 7 人、上肢 6 人、手指 5 人、膝蓋骨 4 人、恥骨 3 人、鎖骨 2 人、坐骨 1 人、下腿骨 1 人であり、手術有 54 人、手術無 46 人、原因として転倒が 81 人、トランス時の外力 4 人、ずり落ち 3 人であった。

考察）東日本大震災後からデータを集計している。特別養護老人ホームの 1 施設（定数 140 人）は開設して 1 年のため、全体として少なく見積もっているが、およそ 3 年で全入居者の 20%前後が骨折を受傷しているのは驚きである。60%が大腿頚部骨折であり、原因は、転倒が 75%を占め、全骨折のうち半数が手術を受けている。大腿頚部骨折に限っては 80%前後が手術を受けている。受傷時間は、午後 4 時から午前 0 時までは比較的少ないのみで、深夜から夕方まで万遍なく多い。深夜から朝食までは、スタッフが手薄になることや徘徊や夜間頻尿のため、また朝食後から夕食後は入居者全員が活動するため転倒リスクが上がるためと考えられる。現在集計中であり今後は受傷時の MMSE、バーセルルインデックス、要介護度、骨粗鬆症治療の有無なども検討して骨折リスクを減らすにはどうしたらよいか、どの入居者を重点的に見守っていくべきか報告する。